

『論語と算盤』

オンライン読書会

6月新刊の『詳解全訳 論語と算盤』をテキストに、
 渋沢栄一の『論語と算盤』の世界に触れてみませんか。
 初参加の方もすでに参加されたことのある方も
 大歓迎です、奮ってお申込みください。

締切
 2024年
 8月5日
 月

講師 守屋 淳 (作家)

形式 オンライン (オンライン会議アプリ Zoom 使用)
 初回と最終回の講義は会場とオンラインのハイブリットで実施

実施日 2024年 8月10日*、9月14日、10月12日、11月9日、12月14日
 2025年 1月11日、2月8日、3月8日、4月12日、5月10日、
 6月14日、7月12日* (*の回は講義を実施)

時間 10:30～12:30

参加費 3,000円 (全12回分、テキスト代含む)

テキスト 『詳解全訳 論語と算盤』
 (渋沢栄一著、守屋淳訳注、筑摩書房)

- テキストとして配布いたしますので、ご購入いただく必要はございません。
- すでにお持ちの方は、研究センター選書の関連書籍を差し上げます。

定員 30名 (申込み多数の場合は選考を行います)



お申込み 渋沢栄一記念財団ウェブサイトよりお申込みください



ウェブサイト <https://www.shibusawa.or.jp>

トップページ ▶ 研究センター ▶ 企画・セミナー等情報 ▶ 『論語と算盤』読書会

お問合せ先

渋沢栄一記念財団研究センター

event0012@shibusawa.or.jp

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 2-16-1 (飛鳥山公園内)



公益財団法人 渋沢栄一記念財団



渋沢栄一
 (渋沢史料館所蔵)

本読書会は、6月新刊の『詳解全訳 論語と算盤』（渋沢栄一著、守屋淳訳注、筑摩書房）をテキストに全10章の内容を毎月1章ずつ読み進めディスカッションを行います。終了時には、参加者一人一人がアドバイザーとなって『論語と算盤』の読書会を開けるよう、仕事や経営、教育、研究、生涯学習、地域活動など様々な場面で活かしていくことが目標です。

渋沢栄一や『論語と算盤』に関心がある方、また幅広い世代の方とのディスカッションを通じ知見を広げたい方にもおすすめです。



守屋 淳（作家）

1965年東京生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。大手書店勤務を経て、現在は中国古典、主に『孫子』『論語』『老子』『莊子』『韓非子』などの知恵を現代にどのように活かすかをテーマとした、執筆や企業での研修・講演を行う。『現代語訳 渋沢栄一自伝』（平凡社新書）、『現代語訳 論語と算盤』（ちくま新書）、『渋沢栄一「論語と算盤」の思想入門』（NHK出版新書）『ビジネス教養としての「論語」入門』（日本経済新聞出版社）など。

ホームページ <https://chineseclasics.jp/>



注意事項

- ・ディスカッションを円滑に進めるため、全ての回に参加できる方を対象としています。
- ・欠席された場合でも参加費の返金はいたしませんのでご注意ください。

過去の読書会参加者のコメント

第10期

毎回楽しみにして参加し、世代やジェンダーを超えた様々な意見が伺うことが叶い、実りの多い有益なものとなりました。

書籍やテレビ番組など「論語と算盤」を学ぶ機会は多くなってきたが、同じような問題意識を持つ諸先輩方と議論を交えることで多くの知見や志を育むことができました。

第11期

一冊の本にじっくりと向き合い、いろいろな意見を聞く中で新たな発見もあり、自分のこれからの生き方を考える良い機会になりました。

仕事する上で大切にすべき価値観を再認識することができました。また、普段道徳的な考え方についてディスカッションする機会がないため、自分の考えや想いを言語化して説明するための場にもなりました。

第12期

リモートでの業務が増え、人との交流が少なくなっている中で、同じ興味を持った仲間と議論することができました。とても充実した時間を過ごすことができました。

生きる上で参考になることが多い。渋沢栄一の考え方、守屋先生のコメント、そして参加者の発言にもハッとさせられたり、なるほどと頷くこともある。参加すると充実感がある。

読書会は初めての参加でしたが、一冊の本を通してほかの方の経験も含めて楽しい会となりました。一人で「論語と算盤」を読んだときに見えないものが、見えるきっかけができました。